



平成 24 年 1 月 16 日

各 位

会 社 名 OMソーラー株式会社
代表者名 代表取締役 飯田 祥久
(コード番号・2401)
問合せ先
役職・氏名 事業管理部長 阿久津 弘行
電 話 053-488-1553

「OMハイブリッドソーラー住宅用太陽電池モジュール」発売に関するお知らせ

この度当社では、太陽熱と太陽光を利用して「暖房」「給湯」「喚起」「発電」の4つの機能を実現するハイブリッドソーラーシステム「OMクワトロソーラー」専用の太陽電池モジュールとして、セル発電効率 18.6%を実現した『OMハイブリッドソーラー用太陽電池モジュールOM-125SMS118A-S』を、2012年1月中旬より全国のOMソーラー会員工務店を通じて発売されることをお知らせ致します。

住宅におけるエネルギー使用の約6割が、「暖房」と「給湯」の熱需要であることから、当社ではこれまでも太陽エネルギーの熱利用技術であるOMソーラーシステムの普及に取り組んできましたが、更なる進化として太陽光発電との技術的な融合によるハイブリッドソーラーシステム「OMクワトロソーラー」を開発致しました。「4」を意味する「クワトロ」の名称の通り、「OMクワトロソーラー」は住宅における重要な機能である「暖房」「給湯」「喚起」「発電」の4つの機能を併せ持っています。

本製品は、一般的な太陽電池モジュールとしての発電の役割だけでなく、OMソーラーシステムのプレヒートパネルの役割を持ち、ハイブリッドソーラーシステムを構成しており、電気と熱の両方のエネルギーを作り出すことで、世界最高の太陽エネルギー利用を実現する太陽電池モジュールとなります。太陽電池モジュールは、ソーラーシリコンテクノロジー株式会社との共同開発によるものです。日本の建築の標準的な尺モジュールや黒色バックシートを採用することで、モジュール統一による適正な設置・小型化による施工性・施工品質の向上の実現と共に、屋根に設置した際に建物と美しく融合する製品を開発致しました。

当社では、創業以来一貫して太陽熱エネルギーの有効活用を推進しておりますが、更なる普及拡大に向け、さまざまな技術開発に積極的に取り組んでまいります。

引続き、環境問題に取り組み、企業と環境とが調和し持続的に発展していくための活動を行って参ります。

※ 1 光熱ハイブリッドの太陽エネルギー変換効率

新型OM太陽電池パネル（OMクワトロソーラー）は、太陽エネルギーの12.8%を電気に変換、22%を熱（温風）に変換し、太陽エネルギーの34%をハイブリッドに利用するものです。この温風は、高効率のOM集熱パネルでさらに加温され、家全体の床暖房に利用します。

※ 2 弊社シミュレーションSunSons（年間冷暖房負荷計算評価方法特定評価方法認定プログラム 国住生第156号）による。

記

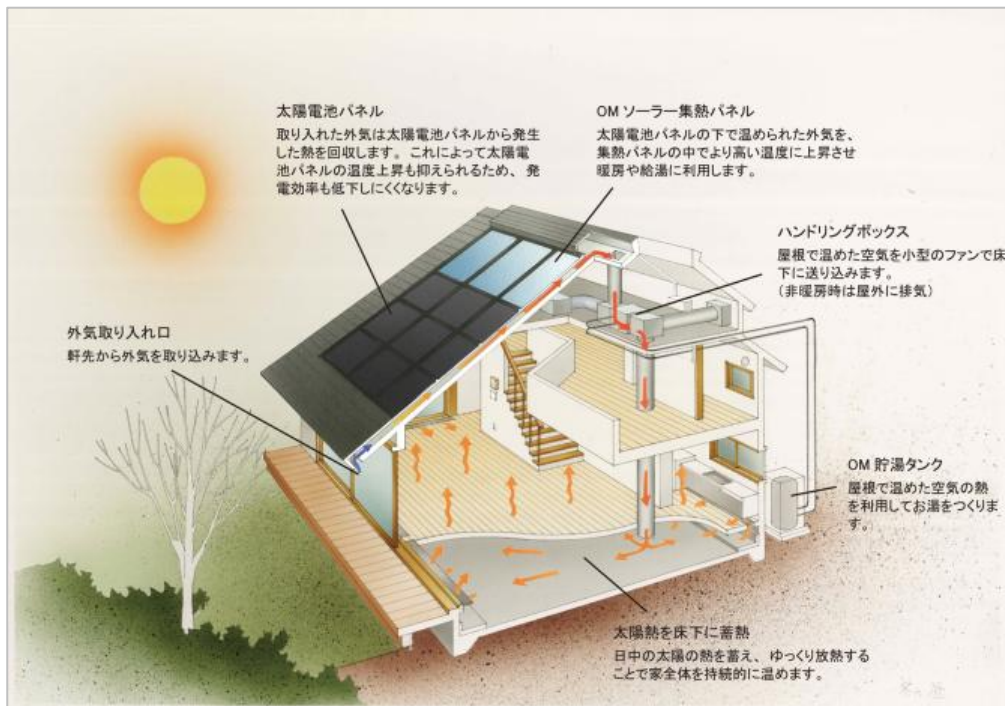
OMハイブリッドソーラー用「太陽電池モジュール OM-125SMS118A-S」の概要

型式	公称最大出力	希望小売価格（税込）	発売日
OM-125SMS118A-S	112W	82,320 円	12 月 1 日

「太陽電池モジュール」の仕様

型式	OM-125SMS118A-S
セル種類	単結晶
セル発電効率	18.6%
モジュール発電効率	12.8%
公称最大出力	112W
公称最大出力動作電圧	21.5V
公称最大出力動作電流	5.21A
公称開放電圧	26.5V
公称短絡電流	5.60A
最大システム電圧	600V
外形寸法（W×H×D）	880×980×35mm
質量	10.0kg

《参考》ハイブリッドソーラーシステム「OMクワトロソーラー」のイメージ図



以上